

日本マクロエンジニアリング学会第 32 回年次研究大会 報告

2017 年 3 月 25 日(土) 15:00~18:00 拓殖大学文京キャンパスにて、日本マクロエンジニアリング学会第 32 回年次研究大会が開催され、盛会裏に終了いたしました。

今回の研究大会では円相場、アベノミクス、国内外のリサイクル、ガバナのエネルギー危機、バイオマスによる CO2 排出削減、震災津波後の漁業資源など、多岐にわたる発表および討論がなされました。

司会・進行：角田晋也 企画委員長

第 1 部：東北大学からの発表



「自動車産業における拡大生産者責任原則の国際比較・自動車リサイクルを中心に-」

◎範 耕杏、王 燦堯、劉 庭秀、Erdenedalai Baatar（東北大学大学院国際文化研究科）



「自動車用バッテリーの国際資源循環の意義と課題」

◎Erdenedalai Baatar、劉 庭秀、王 燦堯（東北大学大学院国際文化研究科）、戸敷 浩介（宮崎大学地域創生学部）

第2部：ポスター・セッション



“Mitigation of Power Crises in Ghana”

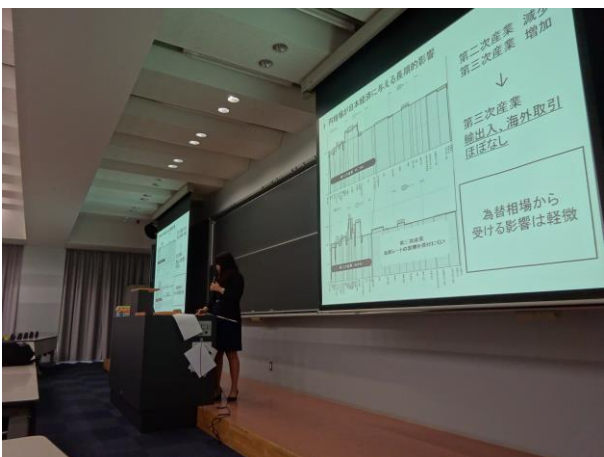
◎Akwas Bobie Ansah, Leonard Larbi Amoah, Anthony Nyamekeh-Armah Adjei, Selma Sumaya Salima Awumbila, Jeongsoo Yu and Toshiaki Aoki（東北大学大学院国際文化研究科）



「日本の小型家電リサイクル制度運用における課題分析」

齋藤 優子（東北大学大学院環境科学研究科）、◎劉 庭秀（東北大学大学院国際文化研究科）

第3部：競争性及び排除性に関する講演



「アベノミクスに伴う円相場の変化と日本経済」

◎石田 りか（拓殖大学政経学部経済学科3年）、指導教員：茂木 創(拓殖大学)



「農業分野の CO2 排出削減の可能性についての一考察～温室栽培におけるバイオマス導入に着目して～」
 ◎八木田 浩史、原口 敬太（日本工業大学）



「東日本大震災津波におけるサケの資源回復状況と定置網漁業への影響」
 ◎新田 義修（岩手県立大学）